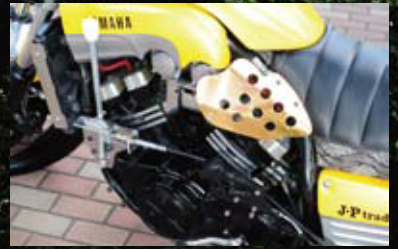


# トライクオーナーに朗報!! 電気式・機械式で国内初 バックシステムの販売開始!!



タンク横に配置されるノブでリバースギアヘシフト。あとはバイク同様のクラッチ&アクセルで車体をリバースさせることができる。



## 機械式リバースシステム

これが機械式リバースシステムのユニット。エンジンの駆動をそのままリバースへと変換するタイプで、シンプルな装着が可能。操作も車体側のレバーでリバースとして、アクセルとクラッチで動かす、いわばバイクの操作そのままの単純さもポイント。装着には同社オリジナルのデファレンシャルギア (43万5000円) の組み込みが必須となる。VMAX専用品。

●機械式リバースユニット価格 / 26万2500円



組み付けは、写真のようにデファレンシャルギアの前方向に取り付けるのみ。今回のモニターはコチラの機械式リバースユニットとなる。

## 電気式リバースシステム

海外にて先行発売し、絶賛されたハイパワーモーターを使用した電気式リバースシステム。ボタンひとつでモーターを駆動させるタイプなので、操作も簡単だ。取り付けには同社のトライクユニット (フルカバードタイプ) に変更する必要がある。写真はVMAX用。

●オリジナルトライクユニット+電気式リバースギアユニット価格 / 71万4000円



形状・形式こそ異なるが、同社が代理店を務めるアメリカントライク社のGL1800用にも電気式リバースギアユニットがラインナップされる。その他車種用も随時開発していくそうなので、楽しみに待ちたい。GL1800は電気式のための設定。

同社では、リバースシステム装着済みのモデルもラインナップしているので、これからトライクを購入しようと考えている方がいれば、はじめてからこの機構が備わっているものを選ぶのが最もお得だろう。



# J.P TRADING



○取材協力<Special Thanks>J・P TRADING TEL : 048-290-0777  
国内メインURL <http://jptrading.asia/>  
国内販売サイト <http://www.bbb-bike.com/search/52062s.html>  
海外輸入サイト <http://www.tradecarview.com/pr/?uid=732236>  
○Text by Ryo Kaneta (3WM)

## 発売を記念し モニター装着車両募集!

自社オリジナルのトライクユニットも持つジェイピートレーディングから、新たにリバースギアユニットが登場した。

気になるスペックは、強力なモーターを使用した電気式と、実車の機構をそのまま活かした機械式の2タイプとなる。

GL1800では標準的に備わる電気式のリバースシステムは、純正ということもありパワー不足感、いわゆるモッタリした感覚は否めない。同じ重量級のVMAXトライクにもリバース時のパワーは必要だ。しかし、同社の電気式リバースギアユニットは、ハイパワーでキビキビ動くのがポイント。これは、すでに海外で先行販売をし、絶賛を受けているモデルだけに、ますます期待度は高い。

そして機械式は、通常のエンジンによる駆動を用いて、デファレンシャルギアの直前にこのリバースシステムのギアユニットを装着することで、アクセル・クラッチを使ったバイク本来の動作でリバースをさせる仕組みとなる。使用しないとは思いますが、つまり5速MTのバイクであるなら、リバースでも5速までギアチェンジできるというワケだ。ここからいかにシンプルな機構であるかがわかるはず。もちろんこれらは国内開発のアイデアによるものだ。そんなシンプルな機構から発せられるハイパワーな後退は、上り坂でもストレスなく後退することが可能となり、トライクライフをさらに広げてくれるアイテムとなることは間違いない。

今回は本誌読者だけに限定5台のスペシャルモニターを実施! 車種はVMAXで、機械式リバースシステムを格安で装着できる。事実上リバースシステムは無料となるこの機会に、ぜひこのシステムを試していただければ幸いです。

## モニター募集要項

・モニター特別金額 : 43万5000円

・募集条件 : 機械式バックギアの取り付けに伴い、ジェイピートレーディングオリジナルのデファレンシャルへの交換が必要となります。今回はデファレンシャルのみの金額 (43万500

円) でバックギヤをお付けいたします。なお、ジェイピートレーディングにての作業が必須条件となります。予めご了承ください。

・募集期間 : 2012年10月31日まで

発表は2012年11月4日 (ジェイピートレーディングホームページ<http://jptrading.asia/>)より行方予定です。

・募集車種 : VMAX (1985年式~2007年式)

・募集台数 : 5台

モニターに関するお問い合わせ

問:ジェイ・ピートレーディング TEL:048-290-0777



1. 武骨な4本出しマフラーがまさにワイルドな仕様。テールランプ下にカメラをセットするための装備が備わるなど、撮影時は映画そのままのスタイルだった。2. SSRのホイールにファットなタイヤもスペシャル感満点!! 3. ハンドルにはステアリングダンパーも備わり、安定したハンドリングに貢献!!

映画「**WILD SEVEN**」で  
実際に使用された1台!

YAMAHA VMAX **WILD SEVEN**

SPECIFICATION

■全長×全幅×全高 / 2,360mm×1,500mm×1,130mm ■型式 / 3UF改 ■エンジン / V型4気筒 ■ボア×シリンダー / 76.0mm×66.0mm ■排気量 / 1,197cc ■圧縮比 / 10.5:1 ■最高出力 / 97ps/7000rpm ■最大トルク11.3kgm/6,000rpm ■タンク容量 / 15L ■乗車定員 / 2名

昨年冬に公開し、ヒットを飛ばした映画WILD7 / ワイルドセブンにトライクが登場していたが、そのマシンを製作したのが他にもないJ・Pレーディングである。上のマシンが劇中に登場したまさに本物! 同店ではこのマシンも販売予定(公道仕様として)な上、レプリカマシンも製作・販売するそうなので、ファンはぜひともチェックして欲しい!! 販売価格 / 168万円



YAMAHA VMAX J-P Original model

SPECIFICATION

■全長×全幅×全高 / 2,360mm×1,500mm×1,130mm ■型式 / 3UF改 ■エンジン / V型4気筒 ■ボア×シリンダー / 76.0mm×66.0mm ■排気量 / 1,197cc ■圧縮比 / 10.5:1 ■最高出力 / 97ps/7000rpm ■最大トルク11.3kgm/6,000rpm ■タンク容量 / 15L ■乗車定員 / 2名

J・Pトライクのオリジナルモデルとして、同店オリジナルのトライクユニットを装備した1台。大径ホイールも標準で飽きのこない定番シンプルスタイルを貫いているのが特徴的だ。ここから个性的にカスタムしても楽しめるベースとしても最適! 標準販売価格は148万円。



1. こちらは艶の無いマットブラックで落ち着いた質感を与えられたエンジンまわりにレストア済み。2. オリジナルのユニットを装着。フルカバードタイプとなり、マフラーはアップ出しとなっている。



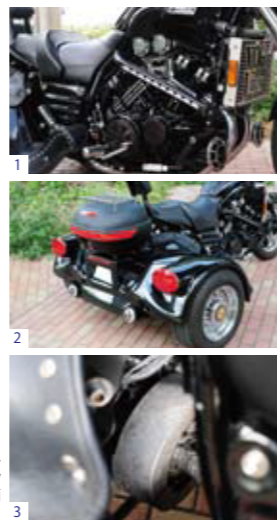
YAMAHA VMAX J-P Back Ger 搭載 model

SPECIFICATION

■全長×全幅×全高 / 2,360mm×1,500mm×1,130mm ■型式 / 3UF改 ■エンジン / V型4気筒 ■ボア×シリンダー / 76.0mm×66.0mm ■排気量 / 1,197cc ■圧縮比 / 10.5:1 ■最高出力 / 97ps/7000rpm ■最大トルク11.3kgm/6,000rpm ■タンク容量 / 15L ■乗車定員 / 2名

同店オリジナルのトライクユニットを搭載し、バックギアも搭載するJ・Pトライクのカスタムバージョンスタイルがコチラ。ユニットもフルカバードされた最上級のスタイリングは、国内はもちろん、海外でも人気を呼んでいる1台となっている。標準販売価格は168万円。

1. エンジン外観はもちろんフルレストアされ、新車のように艶のあるペイントに仕上げられている。2. フルカバードタイプがJ・Pトライクの最上級グレードの証! 3. この車両にはバックギアユニットも備わっていた。



# J.P. TRADING

○取材協力<Special Thanks>J・P TRADING TEL: 048-290-0777  
国内メインURL <http://jptrading.asia>  
国内販売サイト [www.bbb-bike.com/search/52062s.html](http://www.bbb-bike.com/search/52062s.html)  
海外輸入サイト [www.tradecarview.com/pr/?uid=732236](http://www.tradecarview.com/pr/?uid=732236)  
○Photo by 3WHEELS MAGAZINE ○Text by Ryo Kaneta (3WM)

## レストアで 生まれ変わる名車

トライクに乗るならば、美しい外観のものを選びたい。誰もが願うことではあるが、それを販売する1台1台に誠意を持ってレストアを行うのがジェイピーレーディングだ。同店を一躍有名にしたVMAXトライクの人気の秘密はここにある。



ジェイピーレーディングを訪れてまず思うことは、ベース車両のエンジンの美しさは、モーターサイクルの顔でもあるエンジン部分は、時と共に汚れや塗装の剥がれなどが見受けられるが、同店が製作するトライクは、全てエンジンまで塗装された状態となっている。

## エンジンまで磨きあげられ、 最上級のVMAXへ



エンジンヘッドカバーも分解し、磨き上げた上でペイントも行う。ここまで分解レストアされるトライクは稀だ。

オリジナルのトライクキットがまさに組み込まれる瞬間を待っている。車体側のレストア後にセットされるのだ。



J・Pレーディングのトライクはここまで徹底的に分解され、再塗装を施す。美しい姿で納車するという点において、一切の妥協を許さない。



レストアを極めた一軒!!  
ここまで行う丁寧な仕事  
ジェイピーレーディングは、オリジナルトライクキットを使用したVMAXトライクが人気だ。それは車両を見たら納得できるはず。なぜエンジンやフレームがここまで綺麗に?と誰もが思うからである。同店はモーターサイクル界においてもレストアで有名なショップ。その技術は惜しみなくトライクにも注がれ、ここまでの美しい姿を獲得しているのだ。その真摯な製作姿勢にはファンも多く、映画で使用されるトライクの製作も担うまでの高い信頼性や製作技術、そしてカスタ

ムセンスを誇っている。また、海外にも拠点を持ち、グローバルな活動をしているというところからも、独自の高さが伺えるはずだ。それら技術やノウハウを駆使して生まれたVMAXトライクは、オフシオンやタイプでベースプライスが分けてられており、100万円を切るモデルも存在している。  
高品質なレストアトライクを低価格でエンドユーザーにリリースするための多くの自社開発パーツに加え、アメリカントライク社やフランケンシュタイントライクスの代理店の一面も持つだけに、今後はVMAXにとどまらないあらゆる顔を見せてくれる注目の一軒なのである。